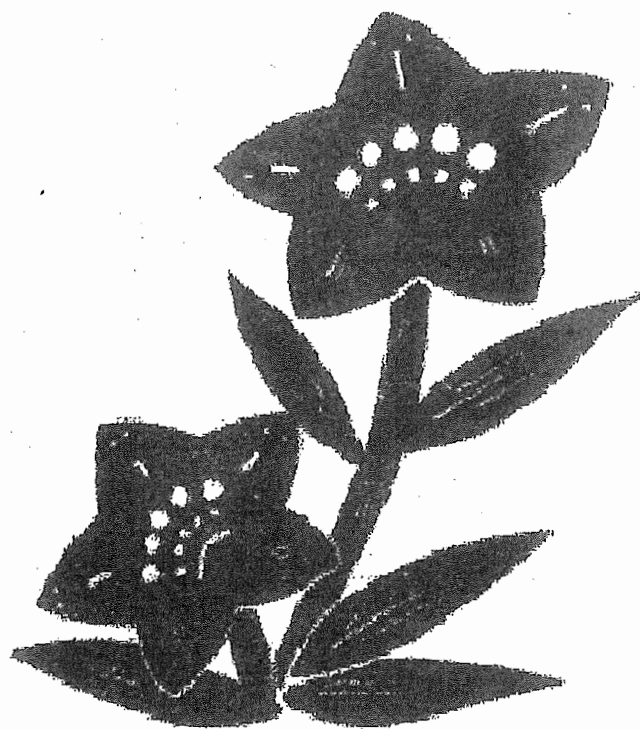


かながわ市民オンブズマン

広報誌 第5号



第5号・目次

- 第6回役員会議事報告・・・・・・・・・・・・・・・・（1）
- 議員の海外視察についての調査報告・・・・・・・・（2）
- 9月・10月度スケジュールのお知らせ・・・・・・・・（11）
- 付録資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（12）

「かながわ市民オンブズマン」インターネット・ホームページ

URL ; <http://www.hamakko.or.jp/~dcj03216>

H. 9. 9. 18. 発行

● 第6会役員会議事報告

記録：折井久彦

日時：平成9年9月12日16:30～21:00

場所：かながわ県民サポートセンター307

議事内容：

1、議員の海外視察問題（篠原代表）

- ・日程中平均1.5日程度が視察目的地に行っているが他は観光旅行と思われる。
- ・鎌倉市は当面議員の海外視察旅行を中止することになっている。
- ・報告書は一人一人が書いているのは川崎市で他は、複数人で書いたり、又はお付の事務局員が書いているようである。内容はお粗末なものが多い。

2、水道メーター談合訴訟の件（大川代表）

- ・8月7日21社を相手に損害賠償（18億円）訴訟に踏み切った。
- ・10月1日（水）13:00～から横浜地裁502号法廷で第一回の裁判があるので、出来るだけ多くの傍聴人をお願いしたい。

3、横浜市情報公開条例の見直しの件（森田事務局長）

- ・横浜市から意見陳述の要請あり、11月17日14:00からで当日、陳述する人の人選を進めたい、また傍聴者を募ります、応募下さい。

4、議会透明度調査に付いて（本間代表）

- ・各地の調査の結果集約を公表、7月14日に記者会見した。
- ・今後の取組として、議員の政務調査研究費の問題を取り上げたい。

5、弁護士相談会の件（森田事務局長）

- ・8月2日に相談会を実施した、今まで事務局へ問題提起されているものを中心に10件ぐらいの相談を弁護士7名で受けた。今後も続けたい。

6、オンブズマン全国大会報告

- ・広報誌4号の5ページ24行目「すべての議員」とあるが「殆どの議員」の誤り。
- ・今後の問題、関東、関西等ブロック毎の活動グループでやっていけば良いと思う。
- ・出席者全員が大変に燃えた大会だった。（生田）
- ・第1部会に出席（訴訟問題）
- ・今後は各市単位でオンブズマン活動を展開していく必要がある。（山口）
- ・地域のオンブズマン活動を盛り上げたい。
- ・鹿児島、屋久島のオンブズマンが出席していて感動した。（本間）

7、川崎市民オンブズマン設立（篠原）

- ・8月30日設立総会を開催約70名が参加した。現在入会した人は約50人だ。
- ・川崎は活動に応じて選択出来るよう、賛助会員制度を取った。
- ・奥津さんも出席され、第3セクターの土地公社の実態、調査内容の話をされた。
- ・9月16日に発足第1回目の会議を行ない今後の活動を協議する。
- ・広報誌は2か月に一回ぐらいで発行したい。
- ・役員は、代表：篠原／江口／奥田、事務局長：中村、会計：西田、顧問：塚本、

8、各地の活動情報

- ・横須賀市：インターネットを開設／交際費の調査、時間外勤務調査中。

- ・大磯町：オンブズマン発足に向けて9月14日準備会をやる／公文書公開条例案が提出された／姉妹都市（デート市）への訪問旅行に対する監査請求を出す。

9、事務局より

- ・名簿公開は、本人公開を許諾した人のみの名簿をつくり公開したい。
- ・議員の扱い：議員は「かながわ市民オンブズマン」の会員としては良いが幹事にはならない等ルールにしたい。全員承諾。
- ・「作業日」を設置、：役員会だけでなく月1回広報発行作業日に発行作業をやると共に意見交換の場にしたい、自由参加で作業も手伝って欲しい。

（当面9月18日13：00～関内大川事務所にて行ないます。）

※次回の役員会は10月17日（金）18：30～、場所は県民サポートセンター。

議員の海外視察についての調査報告

★ アンケート項目の設定について

1 第1問「議員が希望すれば任期中に一度は参加できる海外視察」という表現が回答側に混乱を招いたふしがある。すなわち、2期以上、又は3期以上の議員を対象に実施している自治体では、上記回答に対し「実施していない」と回答する傾向があった。対象議員がどの範囲かは別として、継続的に海外視察を実施しているという点を把握したいのであれば、別途の表現の工夫があったのではないと思われる。

2 この間の一連の取組みのなかで、海外視察を自粛している自治体も出てきている。これについては、今後の課題として中止理由を問い質す必要があるのではないか、と判断される。なお、鎌倉市は、「市財政が厳しいため実施を当面中断し、平成10年度以降は議会運営検討会等で検討してゆく」と答えている。財政問題を理由としている点は、額面どおりうけとめられないが、鎌倉市をはじめ、当面中止した自治体に対し、海外視察の成果（質問9）とも関連してより意識的に迫及する必要がある。

3 報告書の作成の有無、公開・非公開の区別についても、その理由（作成しない場合、非公開の場合）について、問い質してゆく必要があると思われる。

★ 自治体の対応の差

1 横浜市の透明度が最も低い

横浜市はアンケートに対する回答も基本的に拒否した（別表の記載内容は、別途のルートで入手した資料により補充したもの）（なお、神奈川県は無回答で、川崎のアンケート回答項目も少い。但し、情報公開で資料入手可能）。また、横浜市では議会情報が情報公開条例の対象外のため、この点からも情報が市民の前に明らかにされないしくみとなっている。

2 情報公開制度により公開された情報であっても制約は多い。

(1) 藤沢市の情報は出費等の関する資料は証拠原本でなく事務局作成によるメモと推測される。従ってその裏付け証拠が資料公開されていない弱点を有している。

(2) 出費（旅行社への支払金）についても見積書（例えば横須賀）、もしくは領収書（例えば海老名）のみ資料公開されているだけで、見積書、請求書、領収書の三点セットで公開されている自治体はひとつもない。また、公開された資料は、一括金としての費用で、具体的な費用明細（国内交通費、海外交通費、宿泊費用、食事代、視察、観光経費、その他）がなく、視察内容の分析、詳細な検討をばんでいる。

例①海外交通費：エコノミーかハイレベルのものか。

②宿泊費：どのレベルか？交通費との二重支払の可能性はないか。

（注）川崎市の場合、情報公開で入手した資料より4ツ星以上の宿泊施設

と判明

③経費：観光等に費消した費用はないのか

④国内交通費：どのようなルートでいくら出費したのか。公用車による送迎はないのか。

(3) 藤沢市は、見積書等で旅費とは別に費目を立て、宿泊費として中国であろうとヨーロッパであろうと中近東であろうと一律一泊1万4,000円の宿泊費を支給している。全ての地域の、全ての宿泊費用が全て同額であることは考えにくく、現実とのギャップ（従って利ザヤ）が生じていると推測せざるをえない。

(4) 他の多くの自治体では見積書、領収書の記載としては日当、支度金の外の費用としては旅費経費の費目しかなく、従って、この費用のなかに旅費と宿泊費とが混在しているものと推測され、そうだとすると細かい見積りの提出がない限り分析不能となっている（藤沢市の場合と同様に「利ザヤ」の可能性は大いに存在する）。

3 神奈川県・横浜市等は高すぎる。

大磯町・二宮町の海外視察は6泊7日の日程で30万円未満で実施されている。

他方、他都市、とりわけ神奈川県・横浜市の場合はこれに比べてはるかに高額である。ちなみに神奈川県では平成7年度のオランダ、イギリス、スイス、イタリア、フランスが17日旅行で140万円（但し、国外旅費算出内訳書明細をみると旅費の外、日当、宿泊費、支度金、雑費を加算すると182万2,000円）、横浜市にあっては、平成9年度のブラジル・ハワイが13泊14日で130万円で、かつ、横浜市企画の最終目的地がハワイとなっていることが注目される。

★課題と今後の方向性

1 見積書、請求書、領収書の三点セットの追及と一括見積（請求、領収）書ではなく、勘定費目を明示した資料要求が必須である。

2 アンケート第10問は、知事（市長、町長）から餞別支給があったか、の問になっていたため、茅ヶ崎市のみ素直に「

過去に支給したことがあった」と認めたものの、他の自治体は全て否定回答であった。一方、仕度金の支給については情報公開制度で入手できた自治体にあっては全て支給されている（別紙2、仕度金欄参照）。

従って、実態としては餞別の用語ではNOであっても、仕度金の用語ではYESとなるものと推測される。

仕度金の名目による支出は、不必要であり市民オンブズマンとして「高すぎる海外視察、旅費」とともに、具体的実践的課題としてわかり易い仕度金の追及にも取り組む必要がある。

3 日当についても「1. 指、2. 甲、3. 乙 4. 丙」の区分に応じてそれぞれ日当が支給されている。議員歳費、政務調査費の高額な支給に加えて日当支給を行うことは不必要である。ましてやのちに分析するとおり視察日程のうち視察と目されるものはごくわずかであり、他方、観光ともいべき日程が多数組み込まれている。これに対し、日当支給することは問題外というはかない。

4 海外視察費は、私たちの海外旅行の経験に照して直感的にいても高額すぎる。それは大磯町・二宮町の海外視察と対比しても明瞭である。

しかし、これについては具体的検証をしたうえで批判する必要がある、そのためにも前記費用明細の公開が必要である。他方、自治体における経費支出のチェックが一括チェックとなっているのは問題である。

5 別紙2、備考欄に記載したが、当該地域から成田までの往復の交通の便の調査が必須である。私たちの聞き取りでも、自動車利用、多くは公用車利用が行われているのであり、海外視察費として計上されているものの外、周辺経費も見落すことなく究明する必要がある。

6 議員の海外視察にはごく一部の例外を除き議会時事務局が日常的世話係として同行している。これについては横須賀市の場合、報告書の様式からして「随行（報告書）氏名」と明記されているように世話係のための随行に止まらず、報

告作成者も議員でなく随行者であることが明記されている。

添乗員だけでなく同行随行者も含めた経費の出費についても、観察の目を光らせる必要がある。なお、川崎市の平成8年度の海外視察には「事務局随行者2名」と記載されている。

7 観光目的であれば通常の添乗員・通訳者で十分対処可能である。しかし、専門的な行政レベルの調査にはこれに対応した専門的通訳能力を有する通訳者（真摯な調査研究ならときに同時通訳）の配置も必要と思われる。その経費はどうなっているのか、他方、公開された資料にはその経費の支出はない。そうだとすると、後記視察日程の分析と総合すれば多くの日程は観光目的と指摘されても釈明の余地がないのではなかろうか。

8 視察日程の分析

視察日程に合致した地域に何日いて、何時間視察目的に使ったかを分析することとした。その視察自体も深い洞察力をもった調査なのかどうか疑問であるが、それはさておき、全日程中、何日がそれに振りあてられたかを分析した。

(1) 神奈川県

各年度においていずれの日程をみても「用務地及び経路」を記載し、そのうえで都市名を記載しているだけで具体的な視察内容の記載は一切なく、きわめて不透明である。ちなみに「オランダ、イギリス、スイス、イタリア、フランス」旅行をみると、アムステルダム2泊、ロンドン3泊、ジュネーブ2泊、インターレーケン1泊、ミラノ2泊、パリ2泊で、また、「スウェーデン、ノルウェー、カナダ」旅行をみると、ストックホルム2泊、イエテボリ2泊、オスロ1泊、ベルゲン1泊、ラルダール1泊、再びオスロに戻り1泊、レイクルイブ2泊、バンクーバー2泊となっている。

旅行費用の高額がひとつの特徴で、しかも詳細な視察日程の記載がないのがもう一つの特徴となっている。しかし、宿泊地の前記実態と報告書の記載内容からして行政視察目的の日程が高い比率を示しているとは措信しがたいものとなって

いる。

(2) 横浜市（平成9年度資料、独自入手資料）

① ヨーロッパ・アメリカ視察14日間

1) 第3日目；14：05 ハンブルグ着専用車にて着後ハンブルグ横浜市事務所訪問。夕食・同事務所主催の懇談会。

2) 第4日目；午前中 小学校給食関係施設視察

3) 第5日目；視察なし、夕食 在ニューヨーク横浜市事務所主催の懇談会

第6日目；終日 ニューヨーク市内視察（＝観光旅行）と在ニューヨーク横浜市事務所訪問

4) 第9日目；終日 アトランタ市内視察（オリンピック会場など）

※第10日目～第14日目はハワイ観光で帰国。

すなわち14日間のうち、ハンブルグとニューヨークの夕食会も視察とはみなし難いので除き、他方、アトランタ視察も、横浜オリンピックとの関係でオリンピック施設をみるという時間帯は観光旅行（その余の時間は観光旅行）でないと善意に解釈するとして、それに加えるべき視察は1. ハンブルグの小学校給食関係施設視察午前中の半日2. ハンブルグ及びニューヨーク横浜市事務所視察（2カ所1カ所2～3時間か）しかない。

そうすると14日間日程のうち、圧倒的多くが観光目的といわれても弁解の余地がない。

(3) 川崎市

川崎市の海外視察は他都市に比べいわゆる視察日程の比重高い。ちなみに北米視察を例にとってみると、9泊（機中1泊）10日の日程のうち、1. 福祉関係視察、2. 開発関係視察、3. 教育関係視察、4. 経済関係視察がそれぞれ半日もしくは約1日の日程として取り込まれている。

そのいみで形の上では（もちろん、観光目的と思われる日程も盛り込まれているが）、川崎市は他都市よりも密度の濃い視察日程となっている。

以上のとおり県及び政令指定都市につ

いて検討してきたが、その他の自治体にあっても全日程のうち1日又は2日のみ視察で日程の圧倒的多くは観光日程といわれても釈明しようのないものと推定される。

★ 報告書の分析

1 横浜市は議会情報が公開されていないため報告書は未入手となっている。前述したとおり「海外視察」の名のもとに「圧倒的多くが観光目的」と評価される横浜市にあって、報告書がどのように記載されているのか興味深い。そして、その意味からも議会情報の公開は必須というべきであり、重要である。

2 各地の報告書は原則として議員自身の手によって作成されている。しかし入手した5つの報告書のうち、神奈川県、藤沢市、海老名市、茅ヶ崎市の4報告書は、作成名義は議員複数名となっており、他方、川崎市の場合は議員一人ひとりの作成となっていて、従って、川崎市の方が誠実な対処の仕方となっている。

但し、横須賀市においては、報告書の作成は議員名では行われておらず、随行した議会事務局作成で、何のための議員視察かと疑問をいだかざるをえないものとなっている。

また、神奈川県の場合でも、例えば平成7年度のスウェーデン、ノルウェー、カナダ視察を例にとると、報告者の作成者は参加した議員3名の連名に加えて、「神奈川県福祉部福祉総務室〇〇」の名前も列記されていて、神奈川県においても横須賀市同様に県事務局レベルの関与が色濃く示されている。

3 大磯町、二宮町の場合は、報告書は作成されておらず、「議員だより」に約1000字程度の記事が記載されるにとどまっている。

4 報告書の内容は、基本的には日程のあらまし紹介と訪問先の地理、気候風土、歴史、政治経済の状況等が資料を添えて紹介され、これに付加して視察結果、感想が記載されている形式となっている。

ところで、前者についていえば、殆ど現地を訪れなくとも日本において資料を

集めても記載可能な記述で、他方、一番詳細な紹介は、現地で入手したパンフレット、資料集の類の添付で間に合わせ、しかも英文等の資料については何ら翻訳されることなく添付されているのが実態である。なかには日本で集めた資料も添付されている報告書も存在した。

5 報告書の水準については主観を入れずに示すため、以下、報告書のまとめ部分を全文引用して紹介する。

(1) 横須賀市（平成7年北欧視察）

① 報告書のまとめ（但し、報告者議会事務局）

以上、視察の結果、特に印象の深かった点について列挙したが、このほかにも自然と調和し、落ち着いた景観を有するオスロのムンク美術館は、今後の本市美術館建設にとってたいへん参考になるものであったし、宿泊施設が整い、家族みんなで夏のバカンス中、ここに滞在しながら花や野菜を育てるというコペンハーゲンの市民農園、各都市の港に必ずあったマーケット広場、コペンハーゲンの歩行者天国ストロイエなど、町の活性化、にぎわいづくり、心の豊かさという観点での行政のあり方について多くを学びとった思いである。

今回の視察は、北欧諸国の先進的諸制度を学ぶとともに、北欧の人々の暮らしを大切にする心に接し、質素ながらも人間にとって本当に大切なものは何かを語りかけてくれたものとなった。この視察で得た数々の貴重な、北欧諸国の先進性など今後の議員活動の糧といたしたい。

② 以上は議員自身のまとめではなく、議会事務局の手によるものであり「議員のまとめ」がないことに留意する必要がある。

(2) 海老名市（平成8年ヨーロッパ視察）

① 報告書のまとめ

8月15日午後0時30分、定刻を30分遅れて我々4名はフランクフルトへ向け成田空港を発った。同日午後4時48分にフランクフルトに到着。時

差は7時間である。翌日からさっそくドイツのリサイクル工場を視察。以後、8月25日まで11日間、ヨーロッパ4ヶ国を視察した。それにしても今回の日程はハードスケジュールであったように思う。しかし、せっかく行く以上、欲ばってしっかり見聞していきたいと考えていた。視察内容については、報告のとおりだが、とりわけ福祉と環境問題（リサイクル）についてはヨーロッパ諸国は先進国であった。

それぞれの項目についてはいろいろな面で今後生かされることとなると思うが、10日間4ヶ国の視察を通じて感じたことがある。まず第一点は、EU統合である。4ヶ国を通じて常に耳にした言葉がこれである。このEUは15ヶ国が加盟し、人口は3億7千万人を数える。現在、市場統合問題が先行し、99年度の通貨統合（ユーロ）をめざしてそれまで財政赤字をGDPの3%以内に抑えるなど5つの基準を満たすために各国は財政健全化策を進めている。このこともあって、ヨーロッパ各国は現在福祉の見直しが進められている。高度福祉国家を実現したヨーロッパは、財政の悪化の中で行き過ぎた高福祉・高負担の見直しを迫られているといえる。このほか、EU統合では、現在の条約の改正（欧州議会の強化・共通の外交・安全保障政策の強化など）により政治統合に向け動いているが、国家主権とのからみで問題も多く、イギリスなどは反対の立場にある。

次に環境問題である。特にドイツは旧東ドイツ地域への経済再建の遅れ、社会保障の切り詰めによる労使の対立の激化など不安材料が多いにもかかわらず、環境への配慮にヒステリックともいえるほど取り組んでおり、先端技術がなおざりにされている感があるように見受けられた。しかし、この問題は今後、世界の流れとして理解すべきであろう。視察4項目を含め、全般にわたってこの報告書に言い表されないものもあるが、今後機会をとらえて生かしていきたいと思う。

最後に、視察の実施についてであるが、今回我々4名の議員が視察に参加させていただいたが、議員だけでなく職員にも行っていただきたい。行政の性格として、視察の結果がすぐに生産性に結びつくようなものではないだろうし、財政事情の激しい時期ではあるが、研修制度充実のため率先して職員を海外へ派遣させてほしい。まさに「百聞は一見にしかず」である。これは今回の視察で感じたことでもある。

理事者への要望としておきたい。

② 視察日程

報告書のまとめは、海外視察をしなければ書けないほどのものなのか、適切に判断する必要がある。また、ハードスケジュールで充実した視察か否かは、視察日程と対比すれば一目瞭然である（以下の各地報告も同様である）。

海外視察日程表

平成8年8月15日～25日						
日次	月日(曜)	都 市 名	交通機関	時 刻	行 程	ホ テ ル
1	8/15 (木)	成田空港 フランクフルト	NH-209	12:00	・全日空にてフランクフルトへ (所要12時間) ・宿舎ホテルへ	73/774 17543-7571
2	8/16 (金)	フランクフルト ローテンブルク			・ドイツ・リサイクルシステムについて視察	0-7744 17471
3	8/17 (土)	ローテンブルク フランクフルト ワルシャワ	LH-2904	午前 16:15 17:55	・ローテンブルク市内施設(市庁舎ほか)視察 ・ワルシャワへ移動	74/77 17111-7571
4	8/18 (日)	ワルシャワ			・アウシュビッツ強制収容所視察	"
5	8/19 (月)	ワルシャワ パリ	AF-1911	午前 13:10	・ワルシャワ市内公共施設視察 ・パリへ移動	向 に、7-7744
6	8/20 (火)	パリ		午前 午後	・パリ市内公共施設視察 ・社会福祉制度(高齢者福祉)視察	"
7	8/21 (水)	パリ			・文化遺産施設見学(ルーブル美術館等) ・各自のテーマ館に視察	"
8	8/22 (木)	パリ ロンドン	J-027 (84)	午前 午後	・パリ北駅よりユーロスターにてロンドンへ移動 ・ロンドン市内公共施設等視察(大英博物館、バッキンガム宮殿等)	07/77 17471-7571
9	8/23 (金)	ロンドン			・イギリス議会制度視察 ・各自のテーマ館に視察	"
10	8/24 (土)	ロンドン	NH-202	午前 午後 18:00	・各自のテーマ館に市内視察 ・空港へ移動 ・一路帰国の途へ	成田泊
11	8/25 (日)	成田		13:40	・到着、帰国手続き後解散	



(3) 茅ヶ崎市（平成7年 ヨーロッパ視察）

① 報告書のまとめ

ドイツ・イギリス・デンマークの3国を訪問して、多少の差はあると思うが、民主主義の深さを感じた。日本であれば利己主義になるところ、各自の規制で止まっている。だめなものは駄目。ここまでの時間の経過は長いものがあったことだろう。各国とも税金は高いが、将来のみんなのため、高くてもやむをえないのか。厚い福祉制度。しかし、すこしづつ問題がおきてきているのかも。

我々が訪れた時期は、観光シーズンからはずれていたからか、日本人観光客はあまり見かけなかった。しかし、「いらっしゃい」「どうもありがとう」と日本語の挨拶はされる。どこでも出かけていく日本人は、いいお客さんなのであろう。

実質10日間の視察、短かった。とくに、視察項目については、その経過。歴史等の積み重ねや国の制度との絡みなどがあり、また通訳を通じての話しであり、今一つ本音の部分が聴きにくい感じがした。しかし、国により、地域により、それぞれの政治のかかわる（ママ）方の違いが感じられた。日本の良さ、悪さも、なんとなく感じられた。各国の生活ぶりをみて、なんと贅沢な生活を我々はしているのだろう。今のままでは、金持ちの良いお客さんとしてしか扱われなくなってしまうのではない。各国で、日本人を相手にしているだけで、生活していけるガイドや通訳がいることをみると、すごい国だと感激すると同時に、これでいいのかと反省点もなきにしもあらず。デンマークでは、国が生きていくために、原子力発電を禁止し、風力、太陽発電を25%にするべく努力中とのこと。日本では、不況とは言いながら、公共投資事業の下積みの仕事は外国人労働者が大勢従事している現状について、もっと考えていくべきではないかと感じた。やはり言葉が通じないことが一番残念であった。行動する範囲内ぐら

いはなんとかなるが、お互いの思いを通じさせるには、言葉であった。外国を、自分の目と耳で直接に感じたい。次の機会には是非とも、言葉をマスターしよう。

荒涼たるツンドラ地帯を過ぎ、海が見え始めたら、機内アナウンス「みなさま、前方右手に富士山が見えます」と。ホットした。VIP3人組は日本人である。

② 視察日程

上記まとめに対応する視察日程は次のとおりである。

行程表

日次	月 日 (曜)	地 名	現地時刻	交 通 機	日 程
1	1995年 11/2 (木)	東京(成田)発 フランクフルト着	14:00 18:15	JL407	空路：ドイツへ フランクフルト空港 着後：ホテルへ (フランクフルト・アラバランドホテル泊)
2	11/3 (金)	フランクフルト 滞 在		専用車	ドイツリサイクルシステム調査 - DSD社訪問 (フランクフルト・アラバランドホテル泊)
3	11/4 (土)	フランクフルト 滞 在		専用車	フランクフルト市内事情視察 (フランクフルト・アラバランドホテル泊)
4	11/5 (日)	フランクフルト発 ロンドン着	12:10 12:30	BA927 専用車	空路：ロンドンへ 着後：ホテルへ (ロンドン・ヒルトン・ウィバークレーン泊)
5	11/6 (月)	ロンドン滞在		専用車	イギリス議会制度調査 - イギリス国会議事堂訪問 (ロンドン・ヒルトン・ウィバークレーン泊)
6	11/7 (火)	ロンドン滞在		専用車	ロンドン市内事情視察 (ロンドン・ヒルトン・ウィバークレーン泊)
7	11/8 (水)	ロンドン滞在		専用車	ロンドン市内事情視察 (ロンドン・ヒルトン・ウィバークレーン泊)
8	11/9 (木)	ロンドン発 コペンハーゲン着	12:20	SK502	空路：コペンハーゲン 着後：ホテルへ (コペンハーゲン泊)
9	11/10 (金)	コペンハーゲン 滞 在		専用車	デンマークの社会福祉制度調査 - コペンハーゲン市厚生局訪問 (コペンハーゲン泊)
10	11/11 (土)	コペンハーゲン 滞 在		専用車	市内視察 (コペンハーゲン泊)
11	11/12 (日)	コペンハーゲン発 フランクフルト着 フランクフルト発	14:35 16:05 19:50	SK633 JL408	空路：フランクフルトへ フランクフルト空港にて乗換え 空路：帰国に途へ (機中泊)
12	11/13 (月)	東京(成田)着	15:05		着後：通関後、解散

*記号：JL=日本航空、BA=英国航空、SK=スカンジナビア航空



(4) 藤沢市（平成8年中国視察）

その1

① 報告書のまとめ

今回の視察で直面した、中国各市の役職者が一様に我々に話したのは、日本

政府や日本の各自治体からの中国への投資の必要性である。すでに日本政府は中国政府に多大な投資をしているはずであるが、未だ不十分だということである。我が市は、昆明市と姉妹都市提携を結んでいる。今後は、日本政府だけでなく、地方自治体からの協力も必要となろう。環境問題など我が市に与えている影響や12億とも13億ともいわれる市場の魅力を考えれば、多少の無理は致し方ないかもしれない。

今回の視察は、我々視察団に多くのことを教えてくれた。日本という国が国際的にどのような位置に置かれているのかを我々に示し、隣国中国との付き合いをどのようにしてゆくべきかをも示してくれた。これから中国を視察される方は、有意義な視察をするために、すでに視察された方からの報告をしっかりと聴いていただくべきと思う。

また、語学研修の必要性を痛感した。国際化を迎える我が市の議員団にとって、英語に限らず、中国語などの研修が必須と感じた。議員厚生会等での語学研修制度の確立を強く望むものである。なお、報告書は、まとめて先立つ報告として、その約半分を使って次のような記述を行っている。

「中国の著しい発展

私たち視察団がまずビックリしたことは、中国の猛烈な発展である。上海市に到着後、荷物をホテルに預け早速行った東方明珠タワーの規模に圧倒された。高さはなんと468メートル、高さだけをとらえると東京タワーの1.5倍だが、スケールが違う。東京タワーは単なる鉄塔であるが、このテレビ塔はさしずめ巨大な摩天楼である。さらに圧倒されたのが、タワーの展望塔からみた黄浦江沿いの浦東地区の開発である。タワーの周辺地区は既にビル建設のための整備が終わり、東京の丸の内地区のオフィス街を遙かに上回る巨大なビジネス街の誕生を予想させる。」

「悠久の歴史

私たちがあらためて認識を新たにした

のが、中国の悠久の歴史とその文化的遺産。それを大切にする国民性である。すでに学生時代に学んだ中国の歴史ではあるが、実際に接した歴史遺産の壮大さには、言葉を失う。全長6000キロにも及ぶ万里の長城は、現代の土木技術や機会を駆使してもその建設は不可能と思われるほどである。西安で発掘された6000体の兵馬俑の像も未発掘のものが、その数倍に及ぶと聞かされ、計り知れない中国人民の力をそこに感じた。そして、2000年の眠りから目覚めた兵士の威風を見たとき、当時秦の皇帝の権力が絶大であったことを伺い知ることができた。

映画「ラストエンペラー」の舞台でおなじみの故宮の宮殿、100万点にも及ぶ財宝、地下数十メートルにあった地下宮殿で有名な明の十三陵、蘇州寒山寺の仏閣、中国版ピサの斜塔といわれる虎丘の塔、楊貴妃が玄宗皇帝とラブ・ロマンスを演じた華清池などなど。あげたらきりが無い程の中国の歴史遺産は、日本人が学ばなければならない東洋哲学の宝庫である。」

② 視察日程

報告書の記載水準は、視察日程と照合させるとその目的が海外視察研修にあるのか、海外観光旅行にあるのか、その識別が可能となってくる。

	月日(曜)	都 市	交通機関	時 刻	日 程
1	10/5(土)	東京(成田)発着 上海	JL 791	10:00 12:00	上海着 浦東(ホトウ)開発区視察 リサイクル工場視察 (上海泊)
2	10/6(日)	上海 蘇州 蘇州 上海	発着 列車 342 発着 列車 375	7:35 9:04 15:57 17:30	列車にて、蘇州へ 蘇州市内視察、寒山寺、虎丘、刺繍研究所他 列車にて、上海へ 上海着 (上海泊)
3	10/7(月)	上海 西安	発着 WH2502	16:55 19:00	上海市人民政府表敬、昼食後懇談会 障害児リハビリセンター視察 空路西安へ (西安泊)
4	10/8(火)	西安			兵馬俑坑博物館視察他 (西安泊)
5	10/9(水)	西安 北京	発着 WH2123	8:45 10:15	空路北京へ 北京市人民政府表敬 老人大学視察 (北京泊)
6	10/10(木)	北京			万里の長城、明の十三陵視察 (北京泊)
7	10/11(金)	北京 東京(成田)発着	JL 782	14:50 19:10	故宮博物館視察

JL日本航空 WH中国西北航空

(5) 藤沢市（平成8年カナダ視察）

その2

① この報告書はきわめて短い。ここで海外視察の目的、内容の理解のため全文引用することとする。

「ウインザー市

昭和62年に本市と姉妹都市提携を結んだウインザー市は、人口20万人、アメリカ大陸中央に点在する五大湖のうちエリー湖に注ぐデトロイト川の河畔に位置する。

対岸には自動車産業都市として名高いアメリカ合衆国デトロイト市があり、ウインザー市とは橋で結ばれている。産業面からみたウインザー市の特徴は加工業、鉱業、観光業、自動車産業など多角的経済都市であり、そのことから本市との姉妹都市としての共通性を伺うことができる。

ウインザー市議会は、市を5つのゾーンに分けたそれぞれの区域から定数2名合計10名の議員と市長により構成されており、議長には市長がなり、議員の任期は3年である。また本会議の開会時間は夜の7時からとなっており、開会に先立ち国歌を斉唱し、続いて議会の公開・非公開を諮り公開の場合は議員の質疑が終わり次第議員の許可を得て市民が質疑をすることができる。

議会初日に提案された議案等は2日目以降は議案番号のみを議長が言い渡しそれを審議してゆくとのことである。議会の開会日は、毎週1回（7月は隔週1回）開かれるなど日本の地方議会制度との差異に驚かされた。つぎに公立のケアハウスと特養施設について報告したい。私達が視察した場所は、事務員7名ヘルパー看護婦30名（パートタイム70～80名が働いている）定数256名の施設で現在251名が入所していた。

当施設にはデイケアサービスとアルツハイマー、ショートステイの3種類があり、州のケアが必要と認めたのちオフィス・コーディネーターそして病院ソーシャルワーカーが決定した人が入所できるが、カナダでは原則としてホームケアをする方向で指導している。看護につい

ては、24時間看護体制ができており、ヘルパーは4年制、準看は2年制、助手は18週間コミュニティーカレッジを終了後配属されている。

施設には医師・歯科医師・薬剤師が常駐しており絶えず患者のホームドクターと連絡をとり、ケアをしている。また基金や月に一回の新聞を発行したり、手芸・人形・シャツ等の販売をして広く市民から資金を集めているとの説明があった。次に視察したディボンシンという名称の私立のケアハウス特養について記述する。

当施設はウインザー市と民間との共同経営となっており、目の前にデトロイト市の高層ビルが見えるデトロイト川ほとりにある。施設長1人、施設担当3人そして92名の職員が働いていたが施設長以外は全員女性であった。定員数277人のところ現在230人の入所者があった。正看護婦は24時間体制で、医師は外から緊急時に来てもらえるが、保健所・消防署等には定期的に連絡をしてケアの充実を図っている。また施設内の部屋については、1人部屋・夫婦部屋等ホテルの一室を思わせる造りとなっており、明るい色調のバスルーム・教会・レストルーム・図書室・美容室・エクササイズルーム等があり、各部屋の入口にはそれぞれの飾り物が掛けられ、個性が表現されていた。そのなかにおいて興味深く思えたのは施設を見渡し寝間着姿のご老人が誰もいないことであった。

「ヴィクトリア市

ブリティッシュコロンビア州にあるバンクーバーから2時間程の所に位置するブッチャーデューガーデンを視察したのでここに報告する。1904年にロバート・ブッチャーデュー夫婦が造った公園で創設者の好みが高齢の花の色の取り合わせや配置に反映されており、新しい品種の花や樹木が毎年加わっている。この庭は現在同夫婦の孫にあたるイアン・ロス氏によって管理されていて、日本庭園・イタリア庭園・チョウザメの噴水・バラ園・芝生の公園等があり敷地面積4万坪を有している。管理には400人の職人があっていた。

植物の一つ一つに名前の標識を一切つけない管理に新鮮味を覚え、そして地域の人々が持ち寄る植物については、たとえ同一品種が園内にあっても気持ちよく受け入れる姿勢に、花を愛する国民性を感じた。いずれにしても、個人がこのような広大な公園を管理運営をしていることに、ただただ目を見張る物があった。

あとがき

カナダでは間接税制度を用いており国税7%、州税8%（州によって異なる）で、国・地方が運営されていると共に公カジノバーが至る所にあり、財源確保に役立っている。ゴミの問題についても日本の約20倍の国土を有するカナダにおいても、将来を見据えて生ゴミの有料化を実施する方向で進んでいる。ほかにも受益者負担の原則があり、権利と義務との関係を大変強く主張する国民であることを実感する視察であった。市民レベルの交流から始まった両市の都市親善が、姉妹都市提携で実を結び、10年が過ぎようとしている。この間スポーツ・芸術分化等様々な都市親善交流事業が執り行われ、両市の精神的交流は熟したものと思われる。

今後は、たとえば産業・学術などの視野から両市の物質的利益の交流や新たな知恵を生み出す交流を考えることも必要であろう。このことは、地方が担う国際交流の枠を大きく成長させるものと確信する。

この度の視察は、ウインザー市の国際関係委員会委員長のリック・リモージュ氏ならびにウインザー市長のマイケル・D・ハースト氏の深い理解により実現でき、ここにお世話いただいた全ての方々に感謝申し上げたい。

最後に先輩方が結ばれた絆をさらに力強くすることが、私達の使命と考え、そして今後の両市の発展を心より願い報告を終えたい。」

② 視察日程

視察日程及び視察内容

	月 日	都 市	交通機関	時 刻	日 程
1	7/ 8日(木)	東京(成田)発 トロンターヴ ウインザー	CP2 車	15:00 13:55	国際日付変更線通過 第 ウインザーへ ＜ウインザー泊＞
2	7/ 9日(金)	ウインザー			ウインザー市訪問 市議会 ＜ウインザー泊＞
3	7/10日(土)	ウインザー			ウインザー市訪問 老人ホーム視察 荘園・酒造所視察 ＜ウインザー泊＞
4	7/11日(日)	ウインザー ナイアガラ	車		ウインザー市内視察の後移動 ＜ナイアガラ泊＞
5	7/12日(月)	ナイアガラ トロント カルガリー バンクーバー	車 CP965 車	12:45 14:39	移動 ＜カナディアンロッキー泊＞
6	7/13日(火)	バンクーバー	車		カナディアンロッキー視察 ＜カナディアンロッキー泊＞
7	7/14日(水)	バンクーバー カルガリー バンクーバー	車 CP671 車	12:30 12:49	移動 ＜バンクーバー泊＞
8	7/15日(木)	バンクーバー			ビクトリアとブッチャーデューガーデン視察 ＜バンクーバー泊＞
9	7/16日(金)	バンクーバー	CP3	14:00	＜機中泊＞
10	7/17日(土)	東京(成田)着		15:35	

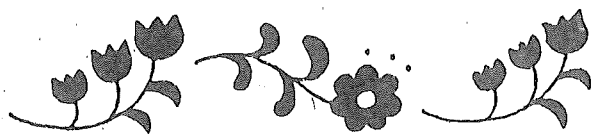
CPカナディアン航空

6 神奈川県、川崎市の報告書は、他都市に比べて総じて長く（川崎市は個人のため分量が多くなる）、また、資料添付も多い。しかし、視察日程は前述したとおりであり、とりわけ、神奈川県の場合は視察日程も少なく、海外視察研修としての適合性に疑問がある。

また、川崎市の各議員報告書も、個人に多少の差はあるものの基本的には日程紹介と地域移動に関する記述が多く、研修に即した記述は少ない。なお、平成9年1月27日から2月10日に行われた、ケニア・エジプト・アラブ海外調査（神奈川県）について県会議員4名の連名で「ケニア・エジプト視察報告書」（カラー11頁、モノクロ9頁、A4版計20頁）が作成されている。だれの手で、どこの費用負担でどのような意図で作成されたものか注視し、追跡調査する必要がある。

★ まとめ

私たちは、上記のとおり議員の海外視察問題について調査し、検討してきた。そのうえで、結論的にいえることは、第



一に、上記のような海外視察が公費を使って必要不可欠なものかということである。私たちは本調査結果を通じて否定的見解に達した。視察日程からみて研修目的の点に疑問があり、高額な公費を使う必要があるのか、報告書の検討からみて、真に「研修」目的が達せられているのか、そして、それはその後の議員活動、議会運動のなか有効に生かされているのか、研修結果は、行政のあり方、改善に有効に機能しているのか、この点についての実践的、具体的成果と到達点が、公費を使った地方自治体と議員自らの手で県市民に開示されない限り、私たちの見解は変えることはない。第二に、議員には政務調査費が相当額支給されている。そうだとすれば、私たちは上記内容程度の海外視察、研修であれば、本来的には政務調査費をもって、これに充当するのが適当ではないか、という疑問をもつ。他方、そもそもこの種視察、研修に使われていない政務調査費というものは、どのように各議員によって使われているのか、私

たちは、政務調査費に対し深い関心をもつ。このことは第三に地方自治体の財政危機が叫ばれている現在、行政的レベルで税金のムダ遣いはないのか、不要、不当な支出がないのかの関心を私たちに呼び起こす。財政危機イコール議員の定数削減が提起されるが、これは安易、安直な発想と連動している。

今、なすべきことは、現実の財政支出のなかで「税金のムダ遣い」はないのかどうかの緻密な検討であり、検討結果に基づくその誠実な実践である。税金のムダ遣いは本来的には監査委員制度、地方議会によってまずもってチェックされる必要がある。そのいみで議員自らも税金のムダ遣いについて、議員自身の周囲を見まわし検討する必要がある。私たちは、その実践の補助として今回海外視察問題を取りあげた。私たちはこれを契機に行政レベルで、議会レベルで行財政の健全化のための議論が深められることを祈念してやまない。

***** 以上 *****

● 9月・10月スケジュールのお知らせ

★5号広報誌発行作業日（ボランティア手伝い歓迎）

日 時： 9月18日（木）13時～16時

場 所： 関内大川法律事務所

★水道メーター訴訟第一回公判

日 時： 10月1日（水）13:00～

場 所： 横浜地方裁判所502号法廷

★「かながわ市民オンブズマン」幹事会（役員・幹事）

日 時： 10月17日（金）18時30分～

場 所： 神奈川県民センター会議室

広報誌：「かながわ市民オンブズマン」 第5号 （会員配布用）

事務局：横浜市中区相生町1丁目18番地 光南ビル6F

大川法律事務所内 ☎045-664-7825 発行責任者：森田明

編集・制作スタッフ：折井久彦／橋本光治／江口武正／奥田久仁夫

高橋由紀／保坂令子／村上英吾／門野圭司／佐藤勉／田中宏

※この広報誌は再生紙を使用しています。

議員の海外旅行についての情報公開のお願いとアンケート

ご回答者のお名前 _____ 様

1 以下の文書を開示して下さい。

- 1) 平成7年度、及び同8年度実施の各議員の海外視察に関する「企画書」「旅行伺い」「旅行命令簿」等、海外視察に当たって事前に作成される文書。
- 2) 同両年度における各議員の海外旅行に関する旅費請求書、旅行社の領収書等、旅費の支出に関する書類。
- 3) 同両年度における各議員の海外旅行に関する復命書その他、海外視察の内容の報告に関する文書。

2 以下の事項について、教えて下さい（該当する回答の番号を丸で囲んでください。なお、追加して記述すべき事がございましたら、自由に追加してください）。

- 1) 貴議会では、これまで議員が希望すれば任期中に一度は参加できる海外旅行（グループで行く場合、個人で行く場合を含む）を実施されてきたか。

① 実施した

② 実施していない

（自由記載 _____）

- 2) 同7年度については、上記の海外旅行を実施しましたか。

① 実施した

② 実施していない

（自由記載 _____）

- 3) 同8年度については、どうでしたか。

① 実施した

② 実施していない

（自由記載 _____）

- 4) もし、実施している場合、ほぼ全議員が参加されていますか。

① 全議員が参加している

② ほぼ全議員が参加した

③ 参加しない会派・党派もあった

（自由記載 _____）

5) 上記の海外旅行（実質、臨番制のもの）を実施していた場合、平成8年度について、その旅行の日程は何日間くらいでしたか。

- ① 8日以内
- ② 10日以内
- ③ 15日以内
- ④ それ以上

（自由記載

）

6) 平成8年度の上記の海外旅行で支出した総支出金額は、いくらでしたか。

（ 万円）

（自由記載

）

7) その海外旅行で、議員一人当りに支給された金額（予算）は、いくらでしたか（各人で違う場合は平均値でお答えください）。

（ 万円）

（自由記載

）

8) その海外旅行で、全日程中、訪問地での施設視察や訪問地の公的な機関との交流など公式の予定行事が組まれていたのは、何日間でしたか。

- ① 2日以内
- ② 3日以内
- ③ 5日以内
- ④ 7日以上

（自由記載

）

9) 上記の海外旅行について、以後の議会の審議等の参考になったとお考えですか

- ① 大いに勉強になり、以後の議会での審議の役に立った
- ② 一般的な知見・見識を広めることができた
- ③ 以後の議会の審議に具体的に役に立ったとはいえない

（自由記載

）

10) 議員が海外旅行をする場合、旅費等のほか、知事から餞別が出されたことがありますか。

- ① 多くの場合出る
- ② 出されたことがある
- ③ 出されたことはない

（自由記載

）

11) 議員が海外旅行をされた場合、その成果について報告書を作成してい

ますか。

- ① 作成している
- ② 作成していない

(自由記載)

1 2) 海外旅行の報告書を作成している場合、その報告書を一般に公開していますか。

- ① 公開している
- ② 公開していない

(自由記載)

1 3) これらの議員海外旅行は、全体として観光旅行で、公費で賄うのは問題だとする意見・批判に対しては、どのようにお考えですか。

- ① 批判は全く当たらない
- ② 妥当する部分もある
- ③ このままで良いとは思っていない

(自由記載)

1 4) 平成9年度について、どのようなご予定ですか。

- ① 実施した、もしくは実施の予定
- ② 実施するかどうか検討中
- ③ 実施を当面中断、もしくは制度を廃止した

(自由記載)

(有り難うございました。全国市民オンブズマン連絡会議)

別表 1

海外視察調査 その1

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
神奈川県	無回答													
横浜市	実施した	実施した	実施した	無回答					①	出たことない	作成して	公開して	①	①
川崎市	実施した	実施した	実施した	参加し、会派は	10日以内	無記入	無記入	無記入	無記入	出たことない	作成して	無記入	無記入	①
茅ヶ崎市	実施した(三期以上)	実施した	実施した	無記入						出たことない	作成して	公開して	①	①
横須賀市	実施した	実施した	実施した	参加し、会派は	10日以内	848万円	77万円	3日以内	無記入	出たことない	作成して	公開して	無記入	①
座間市	実施して(15年以内)	実施して	実施して		15年以内	186万円	93万円	5日以内		出たことない	作成して	公開して		①
厚木市	実施して(11問答と不整合)	実施して	実施して							出たことない	作成して	公開して	①	②
海老名市	実施した(三期以上)	実施した	実施した	参加し、会派は	15日以内	312万円	78万円	5日以内	① ②	出たことない	作成して	公開して	①	①
藤沢市	実施した(二期以上)	実施した	実施した	参加し、会派は	10日以内5人15日以内1人	354万円	59万円	3～6日	①	出たことない	作成して	公開して	無回答	9年度以降当面自費
鎌倉市	実施した(三期以上)	実施した	実施した	参加し、会派は	15日以内	198.8万円(99万4千円×2人)	104万円	5日以内	① ②	出たことない	作成して	公開して	①	当面中止(財政が厳しいため)
逗子市	実施した	実施した	実施して	無記入						出たことない	作成して	公開して	今後対策を講ず	H9予算措置なし
藤山町	H6年以降止	実施して	実施して	無記入										
大磯町	実施した	実施した	実施した	参加し、会派は	8日以内	約200万円	39万円	無記入	無記入	出たことない	議員だけが記載	公開して	無記入	① H10以降中止
二宮町	実施した(毎年1/3)	実施した	実施した	参加し、会派は	8日以内	約200万円	38万円	無記入	無記入	出たことない	議員だけが記載	公開して	無記入	① H10以降中止

別表 2

海外視察調査 その2

	日 当 (1人当り)	宿泊費	支度金	視察行先	費用	旅 程	備 考
神奈川県							
横浜市	甲7,900円 乙6,300円 丙5,700円		53,900円	H9, フランス, H74 ヨーロッパ ヨーロッパ, フランス, H74 ドイツ, スウェーデン	予定約130万 120万 85万 60万	14日間 10日間 14日間 9日間	自宅-成田往復車利用(無料)
川崎市							
茅ヶ崎市	5,000円	15,000円	78,000円	H7ドイツ, イギリス, フランス	85万	1泊12日	
横須賀市	甲7,900円 乙6,300円 丙5,700円	甲24,200円 乙19,400円 丙17,400円	107,800円	H7 北欧 H8 //	770,000円 770,000円	7泊9日 "	※成田往復公用車
厚木市	4,700円	14,500円	43,000円				
海老名市	7,000円	経費に含まれる	43,000円	H7 ニューゼaland H8 ヨーロッパ(独仏英)	756,120円 780,000円	10泊11日 10泊11日	
藤沢市	4,200円	14,000円	70,000円	H7中国(上海、西安、北京) H7ヨーロッパ(英独伊仏スエ) H7(エジプト、トルコ、ギリシャ) H8中国(上海、西京、蘇州、北京) H8カナダ(バンクーバー、バンクーバー) H8ヨーロッパ	399,700円 699,980円 605,695円 400,000円 700,000円 945,920円	5泊6日 11泊12日 9泊10日 6泊7日 9泊10日 13泊14日	
大磯町	8,300円		78,000円	ロシア、フィンランド、スウェーデン	291,560円	6泊7日	往のみ公用車(聞きとり調査)
二宮町	7,000円		78,000円	同上	281,820円	6泊7日	往のみ公用車(聞きとり調査)

(注) 費用欄記載の金額は海外交通費・宿泊費等込みの費用(但し、藤沢市は宿泊費は別枠でその金額は宿泊費欄記載のとおり)